

1 新アリーナ整備について

6月5日に市長は、新アリーナの整備を、市単独で進めていく方針を明らかにしました。「市議会のメンバーとは打合せをしながら、今ゴーサインを出すのがいい時期ではないかという感触を得た」という発言も会見の中であり、議会全体での審議をする前に、一部の議員と調整をして合意を得ているかのようなセリフでした。翌日の山陽新聞一面には、「アリーナ整備決定」の見出しが出て大変驚きました。

政治に対して不信感をもち、期待をしていない人が増える中、議会という場が形だけのものになり、結論ありきになってしまっはけません。

日本共産党もこの間、直接市民の声を聞いています。様々なものが値上がりし、暮らしを支えてほしいという切実な市民要求がある中で、多額の税金を新しいアリーナ整備にあてていこうとしていることに対して批判の声が後を絶ちませんでした。

また、私と同世代の子育て中の方に新アリーナについて聞いてみると、話題にもならないし、よく知らない。全く知らないという方もいます。仕事や育児で忙しい中、関心を持っている方は少ない。と肌で感じています。歴史的な円安の中で実質賃金は減り続け、食費をけずり、節約を強いられる市民の暮らしは本当に大変です。

新アリーナありきではなく、今の岡山市内の体育施設の状況や、市民意識調査などの結果をふまえて、税金の使い方を検討し、他都市との競争ではなく、市民の暮らしに寄り添う施策を優先してください。

質問です。

(1) これまでに、基礎調査と基本計画に3,000万円以上かけてきました。今回予定している2,000万円の追加調査の具体的な内容を教えてください。

(2) 令和5年度の市民意識調査で「スポーツ環境の充実」に関する部分を見てみると、行政施策の重要度としては38の項目中31番目で5.8%。高齢者福祉の充実や子育て支援、児童福祉の充実、公共交通の充実はいずれも25%以上の上位です。そして、満足度と重要度をクロス集計したものは、全体を見ても、若者だけを見ても、満足度は高く、重要度は低い位置にあります。この結果をふまえて、新アリーナが市民に必要とされているのかについて、どう考えていますか。

(3) 前回建設単価を参考にしたOTAアリーナでは総事業費は82億5千万円で、その半分以上は企業版ふるさと納税で集めています。また、仙台市のゼビオアリーナは、民設民営でプロスポーツのホームアリーナに必要な基準を満たした施設を30億円で立てています。これから開業を予定しているアリーナの事業主体も多くが民間事業者です。市が土地を長期間無償で貸すことのみでも大きな支援となります。新ア

アリーナへの市税投入をやめ、民間にできることは民間にまかせませんか。

(4) 岡山市総合文化体育館のある場所は、新アリーナ予定地より敷地面積も広く、駐車場を広げることも可能です。築45年になる総合文化体育館の機能を強化することや、六番川公園や瀬戸町総合運動公園の体育館にも空調設備を整えること、ジップアリーナに大型モニターを設置することを県と協議するなど、市内全体の体育施設の活用も視野にいて、予算比較もするべきかと思いますが、いかがでしょうか。

(5) 2018年の国土交通白書には「楽しみ方に対する国民の意識」という調査で、余暇の過ごし方のグラフでは、「スポーツ観戦やライブ鑑賞などに出かける」はどの世代も低い位置にあります。そして、「余暇を楽しむために必要なもの」はだんとつで時間とお金です。コロナ禍を経て、多くの方にゆとりがない中、6年たった今もおそらくその状況は変わってないと思います。

新アリーナ整備は公設民営を前提に、経済界の求めに応じ、民間の収益性を高めるために公費を投入して規模の拡大をはかる計画です。確かに民間企業が儲けることは大切なことです。しかし、その儲けのための支援が一部の企業に偏るものでは社会の好循環が生まれません。農業、漁業や製造業、保育や医療や介護などの福祉の現場、飲食店や中小企業などへも支援が必要です。

現時点での総事業費は145億円です。これだけのお金があれば、例えば高齢者への移動支援を充実させたり、値上がりした学校給食費の軽減をしたり、中小企業の物価対策など、様々な施策をさらに充実させて、暮らやすい岡山市にしていくことができると思います。優先順位の決め方をどのように考えますか。

2 放課後等デイサービスと児童発達支援について

放課後等デイサービスなどの障害児通所支援事業所は、市内でもよく見かけるようになりましたが、事業者を選ぶときに「多すぎて迷う」「あちこち見に行く時間がない」「違いが分からない」という声を聞いています。制度では事業所の自己評価等の公表が義務付けられていますが、それぞれのホームページから該当のページを探すことは大変で、掲載していない事業所もあります。倉敷市のホームページでは、事業所の自己評価アンケートや、保護者アンケートが一覧で掲載されていて、利用者が選ぶ際に参考になっています。対象者が安心してサービス利用ができるよう。市としてもできることを行っていただきたいです。

質問です。

(1) 岡山市のホームページには、市内すべての障害児通所支援施設の一覧が見られるページがありません。子育て応援サイト「こそだてポケット」の内容を充実させるなどして各区ごとの一覧をつくってください。

(2) 倉敷の取り組みを参考に、各事業所のアンケート結果をまとめて市のホームページに掲載しませんか。

(3) 厚生労働省のガイドラインでは、設置者・管理者に対して、可能な限り第三者による外部評価を導入することをすすめています。岡山県が認証している評価機関は、ワムネットというサイトで公表されており、こういった評価も事業所を選ぶ際に参考になります。市内の事業所で第三者評価制度を導入しているところは何件あるでしょうか。また、こちらの評価へのリンクも市の一覧ページへ掲載をしてはどうでしょうか。

(4) 学校との連携について2月議会では、「学校現場では研修や全職員へ、障害児通所支援施設等との連携についての資料を配布して周知をはかり、連携強化につとめている。」とのことでした。就学前施設との連携はどのようになっているのでしょうか。

(5) 岡山市には、相談支援ファイル「りんくる」がありますが、この活用の趣旨と、支援事業所と学校や園との連携での活用の可能性について教えてください。

3 東区保健センターについて

東区の保健センターは築41年の建物の中にあり、市の計画では、耐用年数を超える19年後の2043年までに近隣施設への移転などを検討していくとなっています。利用する方からは、「授乳室や1階トイレにおむつ台を設置してほしい。」といった要望を聞いています。

東区以外の保健センターは、ふれあいセンターの中に設置されていて、トイレのおむつ交換台や授乳室も整っています。乳幼児を連れて利用する施設なので、最低限のこととして東区でも整えてほしいところです。

質問です。

(1) 東区保健センターに授乳室やトイレ内のおむつ交換台を設置していただけない

いでしょうか。

(2) 現在の建物で無理なら、全て、又は一部移転によって施設の充実を考えていただきたいですが、いかがでしょうか。

(3) 商業施設などでも最近は授乳室やトイレ内のおむつ交換台はあります。公共サービスとしてこういった整備を進めることは必要だと思いますが、お考えを聞かせてください。